

## 乳がん検診受診状況

受診者数：9,188人

	39歳以下	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	計	%
乳房視触診	1,141	2,489	2,647	1,432	590	8,299	90.3%
マンモグラフィ	501	2,565	2,824	1,487	589	7,966	86.7%
トモシンセシス	3	34	38	6	9	90	1.0%
超音波	804	648	548	208	67	2,275	24.8%

乳がん検診の受診者数は9,188人、このうちマンモグラフィと超音波検査を同時に受けた方は1,053人(11.5%)でした。

## マンモグラフィ検査（一次検査）

## 乳がん発見数

年齢	受診者数(%)	カテゴリー					年齢	受診者数	乳がん
		1	2	3	4	5			
29歳以下	26 (0.3)	24	1	1	0	0	29歳以下	205	0
30-34歳	68 (0.8)	57	9	2	0	0	30-34歳	257	0
35-39歳	407 (5.1)	332	61	14(1)	0	0	35-39歳	759	1
40-44歳	1,128 (14.2)	957	115	54(1)	2(2)	0	40-44歳	1,296	2
45-49歳	1,437 (18.0)	1,203	156	75(4)	3(1)	0	45-49歳	1,527	6
50-54歳	1,606 (20.2)	1,320	203	80(1)	2(2)	1(1)	50-54歳	1,706	4
55-59歳	1,218 (15.3)	1,016	148	54(1)	0	0	55-59歳	1,278	1
60-64歳	931 (11.7)	791(1)	112	27(4)	1(1)	0	60-64歳	978	6
65-69歳	556 (7.0)	483	56	17(2)	0	0	65-69歳	576	2
70歳以上	589 (7.4)	503	70	15(4)	1(1)	0	70歳以上	606	5
計	7,966 (100)	6,686(1)	931	339(18)	9(7)	1(1)	計	9,188	27
%		83.9	11.7	4.3	0.1	0	%		0.29

赤字はがん発見数

マンモグラフィ検査の受診者数は7,966人、このうち要精検(カテゴリー3以上かつD判定)者数は188人(2.4%)でした。

マンモグラフィ検査による乳がん発見数は26人(0.32%)でした。両側乳がんの方が1人いました。トモシンセシスを行った人が90人いました。

カテゴリーとは、所見の悪性度を5段階で表現することで情報伝達を容易にしたものです。

カテゴリー1：異常なし

カテゴリー4：悪性の疑い

カテゴリー2：良性

カテゴリー5：悪性

カテゴリー3：良性、しかし悪性を否定できない

## 乳房視触診の所見

年齢	受診者数(%)	要精検者数(D判定)	乳房腫瘍	乳腺硬結	乳腺結節	リンパ節腫大	乳頭分泌	乳房術後	乳腺外腫瘍	乳汁漏出症
29歳以下	184 (2.2)	1	3	2	0	0	0	0	0	2
30-34歳	240 (2.9)	0	7	1	2	0	0	0	0	3
35-39歳	717 (8.6)	2	15	4	3	0	0	0	0	8
40-44歳	1,150 (13.9)	3	28	4(1)	0	0	0	1	0	5
45-49歳	1,339 (16.1)	8	30(2)	12	3	1	0	2	0	2
50-54歳	1,506 (18.2)	5	23(2)	8	2	4	0	11	0	1
55-59歳	1,141 (13.8)	1	12	0	0	1	1	6	0	0
60-64歳	881 (10.6)	3	6(2)	2	0	0	0	15(1)	0	0
65-69歳	551 (6.6)	1	3	1	0	0	0	14	0	0
70歳以上	590 (7.1)	6	7(2)	0	0	0	1	10(1)	1(1)	0
計	8,299 (100)	30	134(8)	34(1)	10	6	2	59(2)	1(1)	21
%		0.4	1.6	0.4	0.1	0.07	0.02	0.7	0.01	0.3

赤字はがん発見数

乳房視触診受診者は8,299人、このうち要精検(D判定)者数は30人(0.4%)でした。

要精検者(D判定)の内訳は乳房腫瘍23人、乳腺硬結2人、乳腺結節2人、乳頭分泌1人、乳腺外腫瘍1人、皮下腫瘍1人でした。

乳房視触診による乳がん発見数は12人(0.14%)でした。

## 乳房超音波検査(一次検査)

年齢	受診者数(%)	要精検者数(D判定)	乳房腫瘍	線維腺腫	乳腺のう胞	のう胞内腫瘍	乳管内乳頭腫	乳管拡張症	葉状腫瘍	リンパ節腫大
29歳以下	185 (8.1)	2	2	17	36	0	0	0	1	1
30-34歳	200 (8.8)	1	0	23	39	0	2	0	0	3
35-39歳	419 (18.4)	2	4	54	111	0	3	1	0	1
40-44歳	335 (14.7)	5	7	39(1)	111	2	3	1	0	2
45-49歳	313 (13.8)	8	7(4)	47	114	0	4	0	0	2
50-54歳	323 (14.2)	4	6(1)	36	112	0	3	3	0	6
55-59歳	225 (9.9)	1	2	20	48	0	4	1	0	2
60-64歳	145 (6.4)	5	2(1)	8	17	1(1)	2(1)	3	0	0
65-69歳	63 (2.8)	0	0	6	9	0	0	0	0	0
70歳以上	67 (2.9)	4	5(3)	4	10	0	0	1	0	1
計	2,275 (100)	32	35(9)	254(1)	607	3(1)	21(1)	10	1	18
%		1.4	1.5	11.2	26.7	0.1	0.9	0.4	0.04	0.8

赤字はがん発見数

乳房超音波検査受診者は2,275人、このうち要精検(D判定者数)は32人(1.4%)でした。

要精検者(D判定)の内訳は乳房腫瘍21人、のう胞内腫瘍2人、乳管内乳頭腫3人、乳管拡張症1人、葉状腫瘍1人、乳腺内石灰化2人、構築の乱れ1人でした。

乳房超音波検査による乳がん発見数は12人(0.53%)でした。